

外国人問題 参考文献

- 浅岡高子(2001)「OPAL:Japanese - オーストラリアの遠隔教育による教師再教育のための日本語コースについて - 」『世界の日本語教育第6号』国際交流基金 日本語国際センター
- イ・ヨンスク(1996)『『国語』という思想』岩波書店
- 池津丈司、大場しづ恵、徳永あかね、山口明(2002)「日本語教育環境マップ作成」海外アドバイザー活動研究コース報告書
- 石井一成(1998)「地域の日本語支援の場におけるリテラシー行動の類型化の試み」『日本語教育』98
- 石井由佳(1999)『エスニック関係と人の国際移動』国際書院
- 石田敏子(1995 初版 1988)『改訂新版日本語教授法』大修館書店
- 伊豫谷登士翁(1996)「日本の国際化と外国人労働者 国民国家の時代から移民の時代へ」『日本社会と移民』伊豫谷登士翁、杉原達編 明石書店
- 江淵一公(1991)「在日留学生と異文化間交流」『異文化間教育5』アカデミア出版会
- 大橋敏子(1991)「留学生オリエンテーションの課題」『異文化間教育5』アカデミア出版会
- _____ (1994)「外国人留学生の帰国適応問題 - 調査結果を基にして」『異文化間教育8』アカデミア出版会
- 岡崎敏雄・岡崎眸(1997)『日本語教育の実習 - 理論と実践』アルク
- 岡戸浩子(2002)『「グローバル化」時代の言語教育政策』くろしお出版
- 奥田道大(1996)『『異質』共存社会への回路<都市的世界・コミュニティ・エスニシティ>調査覚書』『多文化主義と多文化教育』広田康生編 明石書店
- 奥田道大・田嶋淳子編著(1991)『池袋のアジア系外国人』めこん
- _____ (1993)『新宿のアジア系外国人』めこん
- _____ (1995)『新版池袋のアジア系外国人』明石書店
- 加賀美常美代(1994)「異文化接触における不満の決定因 - 中国人の就学生の場合」『異文化間教育8』アカデミア出版会
- 梶田孝道(1996)『国際社会学 - 第2版』名古屋大学出版会
- 梶田孝道・宮島喬(2002)『国際化する日本社会』東京大学出版会
- 金子将史・小林献一・神前元子(1999)「中央アジアとユーラシア外交」松下政経塾第19期生外交チーム <http://www.mskj.or.jp/kyodo/98kd01.html>
- 川上郁雄(1990)「在日ベトナム人子弟の言語生活と言語教育」『日本語教育73号』

- _____ (1999) 「越境する家族 - 在日ベトナム人のネットワークと生活戦略」『民族学研究』63/4
- _____ (2001) 『越境する家族 在日ベトナム系住民の生活世界』明石書店
- 川村圭介(1999) 「言語計画とは何か」『社会言語科学』第2巻第1号
- 河原俊昭(2002) 『世界の言語政策 多言語社会と日本』くろしお出版
- 神鳥直子(1995) 「オーストラリアにおける言語教育政策 - 公正と質の向上の視点から - 」『教育学研究』第62巻第4号
- 木谷直之(1988) 「極東ロシアの大学生の言語学習観について - 海外日本語教師研修のための基礎データ作成を考える - 」『日本語国際センター紀要第8号』国際交流基金日本語国際センター
- 北村歳治(1999) 『中央アジア経済』東洋経済新報社
- クルマス、フロリアン (1987) 『言語と国家 - 言語計画ならびに言語政策の研究』山下公子訳 岩波書店
- _____ (1993) 『ことばの経済学』諏訪功、菊池雅子、大谷弘道訳 大修館書店
- 桑山紀彦(1996) 「農村花嫁をめぐる JVC 山形の取り組み」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 中間報告書』 社団法人日本語教育学会
- 国際交流基金日本語国際センター(2000) 『世界の日本語教育の現状 日本語教育事情調査 1998』
- _____ (2002) 『平成 13 年度/2001 事業報告』
- 小林ミナ(1998) 『よくわかる教授法』アルク
- 駒井洋(1995) 「総論 生活者としての外国人」『定住化する外国人』駒井洋編 明石書店
- _____ (2002) 『国際化のなかの移民政策の課題』明石書店
- 齋藤享子(2000) 「オーストラリアにおける『異文化間教育としての外国語教育』カリキュラム開発の論理 - ALL ガイドラインの検討を中心に」『日本語教育 107 号』
- 齋藤里美・田中望(1999) 「『学習ストラテジー』は学習者を幸福にするか」『日本語教育と日本語学習』宮崎里司・J.V.ネウストプニー共編
- 財団法人国際協力推進会(2000) 『ウズベキスタン』第2版 開発途上国補説経済協力シリーズ
- 城井崇・島川崇・坂口友治(1999) 「ウズベキスタン共同研究 国内分析 ... 人材開発・育成に関する報告書」 松下政経塾第19期生人材開発チーム <http://www.mskj.or.jp/kyodo/98kd02.html>
- 笹川孝一(1996) 「『学習する権利』の確立」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 中間報告書』 社団法人日本語教育学会
- 酒井たか子・三枝令子(1987) 「日本語研修コース修了生に対する追跡調査報告」『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』第3号
- 佐久間勝彦(1999) 「海外で教える日本人日本語教師をめぐる現状と課題 - タイでの聞き取り調査結果を中

- 心に - 』『世界の日本語教育<日本語教育事情報告編>』5
- 桜井厚(2002)『インタビューの社会学 - ライフストーリーの聞き方』せりか書房
- 佐藤郁哉(2002)『フィールドワークの技法』新曜社
- 佐藤郡衛(1999)「日本における二言語教育の課題」『多文化主義と多文化教育』広田康生編 明石書店
- 真田信治・渋谷勝己・陣内正敬・杉戸清樹(1992)『社会言語学』おうふう
- 式部信(1996)「定住化の社会経済学」『日本社会と移民』伊豫谷登士翁、杉原徹編 明石書店
- 渋谷勝己(1992)「言語計画」『社会言語学』おうふう
- 島田めぐみ・渋谷晶(1998)「外国人ビジネス関係者の日本語使用 - 実態と企業からの要望」『世界の日本語教育』第8号
- 社団法人日本外交協会(1998)『日本語教育専門家NIS 諸国派遣事業派遣教師の業務実施完了報告書 平成9年度』
- _____ (1999)『日本語教育専門家NIS 諸国派遣事業派遣教師の業務実施完了報告書 平成10年度』
- _____ (2000)『日本語教育専門家NIS 諸国派遣事業派遣教師の業務実施完了報告書 平成11年度』
- _____ (2001)『日本語教育専門家NIS 諸国派遣事業派遣教師の業務実施完了報告書 平成12年度』
- _____ (2002)『日本語教育国別事情調査 ロシア・NIS 諸国日本語事情』国際交流基金
- 社団法人ロシア東欧貿易会(2001)「ウズベキスタン共和国」
- <http://www.rotobo.or.jp/CISCEEinfo/infuzbk>
- 助川泰彦・福島悦子(1992)「日本語研修コース終了生に対する追跡調査」『東北大学日本語教育研究論集』第7号
- 関口知子(1999)「バイカルチュラル・チルドレンのアイデンティティ形成 - 二次元的文化化の視点から - 」『国際開発研究フォーラム』13
- _____ (2000)「在日日系ブラジル人の子ども達をめぐるバイリンガリズム」『ことばの科学』名古屋大学言語文化部言語文化研究会
- 白土悟(1999)「異文化間教育としての留学生アドバイジング」『異文化間教育13』アカデミア出版会
- 庄司恵雄(1993)「研究現場における日本語使用に対する留学生と教官の意識格差 - 研究留学生の日本語使用状況の報告を中心に - 」岡山大学留学生センター紀要第1号
- 鈴木久美子(1996)「制度と文化の両義性をもつ『学校』と都市エスニシティ 横浜の外国人児童生徒教育を担う外国人たち」『多文化主義と多文化教育』広田康生編 明石書店
- 高井次郎(1994)「日本人との交流と在日留学生の異文化適応」『異文化間教育8』アカデミア出版会
- 田中克彦(1991)『言語からみた民族と社会』岩波書店同時代ライブラリー

- 田中宇(2002)「米軍に揺さぶられる中央アジア」<http://tanakanews.com/c0708turkmen.htm>
- 田中望(1988)『日本語教育の方法：コース・デザインの実際』大修館書店
- _____(1993)「教師の役割の新たな広がり」『日本語学』Vol.12,3 明治書院
- _____(1995)「外国人問題のミクロとマクロ」『言語文化研究』21 大阪大学言語文化部大学院言語文化研究科
- _____(1996a)「語りの多様性に向けて」『言語』28-6 大修館
- _____(1996b)「地域社会における日本語教育」『日本語教育・異文化間コミュニケーション-教室・ホームステイ・地域を結ぶもの』鎌田修・山内博之編 凡人社
- _____(1996)「市場・ハイアラーキー・ネットワーク」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究-中間報告書』 社団法人日本語教育学会
- _____(1999)「日本の外国人問題と自主言語管理」『社会言語科学』第2巻第1号
- _____(2000)『日本語教育のかなたに：異領域との対話』アルク
- 田中望, 斎藤里美(1993)『日本語教育の理論と実際：学習支援システムの開発』大修館書店
- 田中晴美・田中幸子(1996)『社会言語学への招待』ミネルヴァ書房
- 東京大学工学部日本語教育調査研究会(1992)『留学生日本語実態調査』
- トムソン木下千尋・舛見蘇弘美(1999)「海外における日本語教育活動に参加する日本人協力者 - その問題点と教師の役割 - 」『世界の日本語教育』第9号
- バンクス、ジェームズ・A(2001)「市民教育、多様性、カリキュラム変革」山岸みどり訳『異文化間教育15』アカデミア出版会
- 丹羽辰男(2000)「日本企業のトランスナショナル化と日本語教育の必要性」『アジアにおける日本語教育』
- 広島大学留学生センター(1993)『日本語研修コース修了生実態調査報告書』
- 本名信行、岡本佐智子編三修社
- 坪井健(1999)「留学生と日本人学生の交流教育 - オーストラリアとの比較を通して」『異文化間教育13』アカデミア出版会
- ホワイト、カレン, 嘉数勝美(2001)「オーストラリアにおける言語政策とその展望 - 外国語教育政策と日本語教育 - 」『世界の日本語教育第6号』国際交流基金日本語国際センター
- 中西家栄子・茅野直子(1991)『実践日本語教授法』パベル・プレス
- ナカミズ、エレン(1999)「留学生支援システムとしての日本語教育」『異文化間教育13』アカデミア出版会
- 仲矢信介(2002)「日本語母語話者規範と脱言語帝国主義」『東アジア日本語教育シンポジウム論文集』

- 名古屋大学留学生センター(1996)『日本語研修コース修了生追跡調査報告書 2 1996』
- 日本国外務省(2003) 「ウズベキスタン共和国」<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uzbekistan/data>.
- 日本語教育学会(1991)『日本語教育機関におけるコース・デザイン』凡人社
- _____ (1996)『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 中間発表』
- _____ (1997)『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 最終報告書』
- ネウストブニー、J.V.(1982)『外国人とのコミュニケーション』岩波書店
- _____ (1995a)「日本語教育と言語管理」『阪大日本語研究』7
- _____ (1995b)「日本語教育のネットワーク - ランゲージ・マネージメントの観点から - 」
- 『ひろがる日本語教育ネットワーク』(社)日本語教育学会編
- _____ (1995c)『新しい日本語教育のために』大修館書店
- _____ (1996)「ネットワーク研究の方法」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 中間発表』日本語教育学会
- _____ (1997a)「日本語教育とネットワークの考え方」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 最終報告書』日本語教育学会
- _____ (1997b)「プロセスとしての習得の研究」『阪大日本語研究』9
- _____ (1999)「日本の言語問題」『社会言語科学』第2巻第1号
- ハイムズ、デル(1979)『ことばの民族誌 : 社会言語学の基礎』唐須教光訳 紀伊国屋書店
- 萩原滋(1991)「日本留学に対する在日および帰国留学生の評価」『異文化間教育 5』アカデミア出版会
- 橋田坦(2000)『中央アジア諸国の開発戦略』勁草書房
- ハドソン、R.A. (1988)『社会言語学』松山幹秀、生田少子 訳 未来社
- 春原憲一郎(1992)「ネットワークストラテジー」『日本語学』11 明治書院
- _____ (1995)「国内における日本語教育ネットワークの必要性」『ひろがる日本語教育ネットワーク』
- 社団法人日本語教育学会 大蔵省印刷局
- _____ (1996)「システムとネットワーク」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 中間報告書』社団法人日本語教育学会
- _____ (1997)「ネットワークを巡る諸問題」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 最終報告書』日本語教育学会
- 林さと子、尾崎明人(1993)「動的ネットワークと教師の成長」『日本語学』vol.12, 13 明治書院
- 広田康生(1994)「日系人家族の生き方」『外国人居住者と日本の地域社会』奥田道大他 明石書店
- _____ (1996)「総論 - 多文化化する学校・地域社会」『多文化主義と多文化教育』広田康生編 明石書

店

広田康生、藤原法子(1994)「外国人児童・生徒のアイデンティティの行方」『外国人居住者と日本の地域社会』奥田道大他 明石書店

吹原豊(2002)「ライフコースとしての日本語学習」『日本語国際センター紀要 12』国際交流基金日本語国際センター

J. フィッシュマン (1974)『言語社会学入門』湯川恭敏訳 大修館書店 Joshua A. Fishman (1972) The sociology of Language, Newbury House Publishers

フィリップソン、ロバート(2000)「英語帝国主義の過去と現在」白井裕之訳『言語帝国主義とは何か』三浦信孝、糟谷啓介編 藤原書店

藤原法子(1996)「外国人児童生徒の生活社会と都市施設」『多文化主義と多文化教育』広田康生編 明石書店

古川ちかし(1997)「ネットワークの社会的な意義」『国内の日本語教育ネットワーク作りに関する調査研究 - 最終報告書』日本語教育学会

文化庁(1999)「今後の日本語教育施策の推進について - 日本語教育の新たな展開を目指して - 」今後の日本語教育施策の推進に関する調査研究協力者会議

本名信行(1997)「言語教育と異文化間リテラシー」『異文化間教育 11』アカデミア出版会

本名信行、岡本佐智子(2000)「アジアにおける日本語教育の今日的課題」『アジアにおける日本語教育』

本名信行、岡本佐智子編三修社

三浦信孝(1997)『多言語主義とは何か』藤原書店

三浦信孝、糟谷啓介編(2000)『言語帝国主義とは何か』藤原書店

水谷修(1999)「日本語教育と言語政策」『社会言語科学』第2巻第1号

三角友子・仲矢信介(2002)「新考フォリナートーク - 脱言語帝国主義の観点から」『JALT 日本語教育論集』

第6号全国語学教育学会日本語教育研究部会

箕浦康子(1990)『文化のなかの子ども』東京大学出版社

_____ (1992)「『文化とパーソナリティ』論再考」岡山大学文学部紀要

_____ (1994)「バングラデシュの子供の生活世界と学校」『東京大学教育学部紀要第34巻』

_____ (1995)「異文化接触下でのアイデンティティ」『異文化間教育 9』アカデミア出版会

宮崎里司(2000) (共著)「インターアクションと日本語イマーションプログラム：99年度早稲田・オレゴン夏期日本語プログラム」、『紀要』、13号、113-128頁、早稲田大学日本語研究教育センター

_____ (1999)「インターアクション能力の習得を目指したイマーションプログラム：98年度早稲田・

- オレゴンプログラムでの試み」、『講座 日本語教育』、第 34 分冊、197-211 頁、早稲田大学日本語研究教育センター
- 宮島喬・梶田孝道(2002) 『マイノリティと社会構造』 東京大学出版会
- 宮島喬・加納弘勝(2002) 『変容する日本社会と文化』 東京大学出版会
- 宮島達夫(1999) 「言語政策史研究」 『社会言語科学』 第 2 巻第 1 号
- 宮地裕, 田中望(1998) 『日本語の教育とその理論』 放送大学教育振興会
- 安田敏朗(1999) 『<国語>と<方言>のあいだ 言語構築の政治学』 人文書院
- 山岸みどり(1997) 「異文化間リテラシーと異文化間能力」 『異文化間教育 11』 アカデミア出版会
- 山田富秋(1999) 「エスノメソドロジーから見た『言語管理』」 『社会言語科学』 第 2 巻第 1 号
- 山之内裕子(1999) 「在日日系ブラジル人ティーンエイジャーの『抵抗』」 『異文化間教育 13』 アカデミア出版会
- 横田雅弘(1991) 「留学生と日本人学生の親密化に関する研究」 『異文化間教育 5』 アカデミア出版会
- _____ (1999) 「留学生支援のシステムの最前線」 『異文化間教育 13』 アカデミア出版会
- 横溝紳一郎(2000) 「ポートフォリオ評価と日本語教育」 『日本語教育』 107
- 留学生政策懇談会(1999) 「答申等 知的国際貢献の発展と新たな留学生政策の展開を目指して - ポスト 2,000 年の留学生政策 - 」
- Cooper, R.L.(1989) *Language Planning and Social Change*. New York: Cambridge University Press
- Iino M.(1993) Language-as-Resource for Whom? Foreign Language Planning in Higher Education: Its Goal and Implementation. 『世界の日本語教育』 第 3 号
- JETRO(2001) 「アジア主要都市地域の投資関連コスト比較」 『ジェトロセンサー』 2001.4
- Jernudd, B.H. and Neustupný J.V. (1987) Language planning :For whom? *Proceedings of the International Colloquium on Language Planning*, ed. by L.Laforge, pp.69-84. Quebec: Les Presses de l' Université Laval.
- Lambert, R.D.(2000) The winds of Change in Foreign Language Instruction. *Language Policy and Pedagogy: essay in honor of A. Ronald Walton*. ed.by Richard D.Lambert and E. Shohamy. Philadelphia/Amsterdam: John Benjamins Publishing Company
- Neustupný, J.V. (1988) Problems of English Contact Discourse and Language Planning. *English and Language Planning: A Southeast Asian Contribution*, ed.by Thiru Kandiah and John Kwan-Terry. Singapore: Academic Press, pp.50-69.
- Noyama H.(1995) Attitudes toward Bilingual and Multicultural Aspects of Japanese-language Policy

and Teaching to Non-Native Children in Japan 『世界の日本語教育』第5号

Spolsky B. and Shohamy E.(2000) Language Practice, Language Ideology, and Language Policy.

Language Policy and Pedagogy: essay in honor of A. Ronald Walton. ed.by R. D.Lambert and E. Shohamy.

Philadelphia/Amsterdam: John Benjamins Publishing Company

Stern,H.H.(1982) *Fundamental Concepts of Language Teaching*, New York: Oxford University Press.

Australian Language Levels Guidelines (1988)

Tollefson,J.W.(2002) Critical issues in educational language policy. *Language Policies in*

Education: critical issues. Mahwah, N.J. : Erlbaum